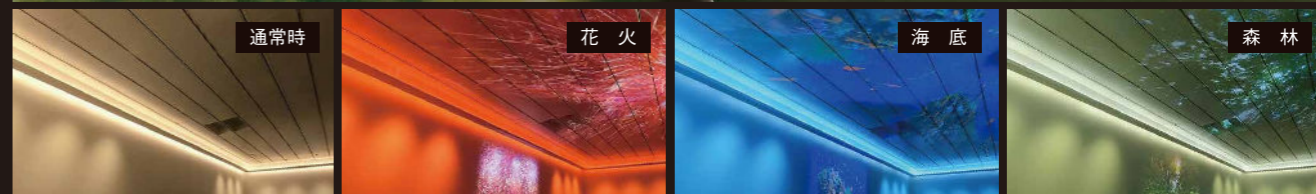
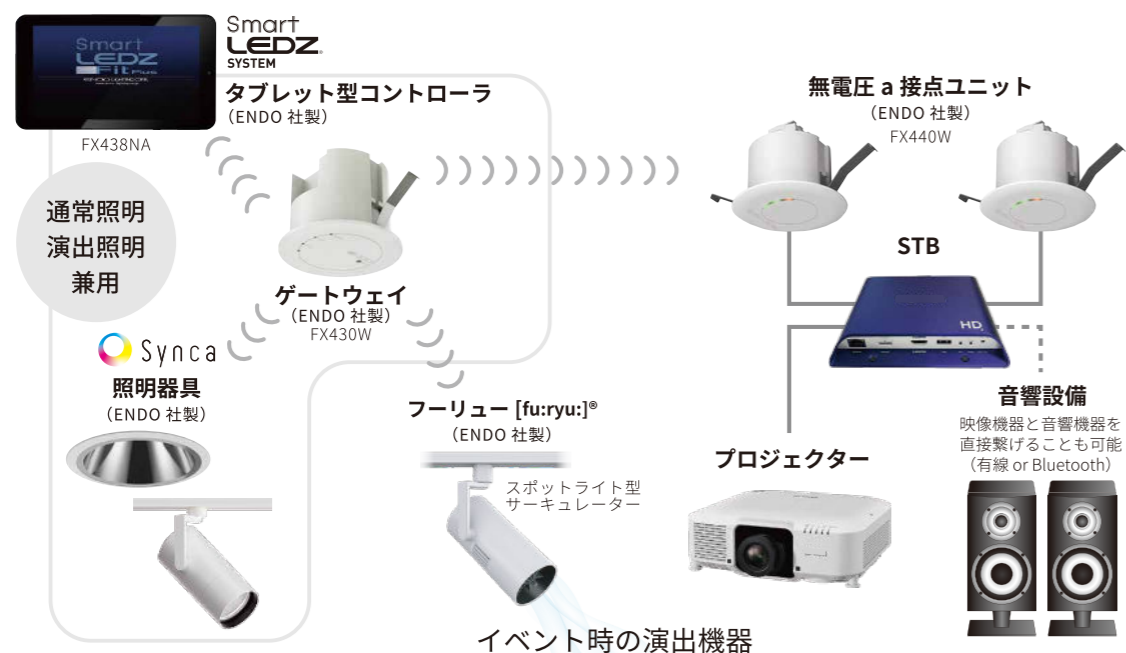


■『Synca LIVE』システム構成図



「Synca LIVE (シンカライブ)」では、光を自由自在にコントロールする無線調光システムを搭載。あらかじめ設定した演出内容をワンタッチで呼び出し可能だ。自動でスケジュール運用することもできるので、手間をかけることなく高い効果を得られる。

照明の最新トレンド、イマーシブな体験空間への誘い
M&A時のイメージ刷新に最適
『Synca LIVE』

(株)遠藤照明の『Synca LIVE (シンカライブ)』は光と映像、音、風を融合させた革新的な照明演出システムだ。来店客に非日常的な没入感を与え、店舗空間を魅力的な体験の場へと変貌させる新たな可能性を示している。

「Synca LIVE(シンカライブ)」は光、映像、音、風を駆使して、従来にない空間の没入感を提供することを目的とした最新の照明システム(左頁上図参照)である。
 光空間の設計には、3Dライティングシミュレーションを用いて綿密な設計が行われ、事前に仕上がりを検証できるだけでなく、最小のエネルギーで最大の演出効果を引き出すことが可能だ。

**秀逸なコスト面
 節電効果も最大60%**

また、従来のプロジェクターを複数設置して演出する場合と比較し、照明器具「Synca」が通常照明も兼ね備えているため、大幅なコストダウンを実現した。なお同製品は、節電性にも優れていることからランニングコストの低減にも寄与する点も見逃せない(左頁中図参照)。
 導入メリットは、コストを抑えつつ、最先端のイメージ

ブ(没入型)体験を提供し、店舗空間を完全に一新できることだ。そのため、M&Aによるランドリリニューアルなどは、より効果的なイメージの向上を期待できる。

さらに、今年も多く店舗が新紙幣対応の時期を迎えている。通常、既存店のテコ入れは後回しになりがちだが、新紙幣対応と「Synca LIVE」の導入を同時に行うことで、効率的かつ効果的な店舗のリニューアルが可能になる。一晩での入替え工事が完了(※店舗規模によって異なる)す

**自然を取り入れた
 空間作りを提案**

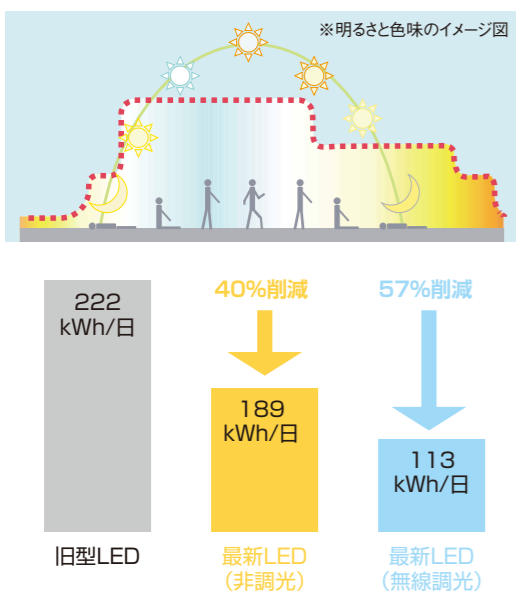
近年、商業施設では自然を取り入れた空間作りがトレンドだ。この手法は「バイオフィリクテデザイン」と呼ばれ、自然光の活用や植物、水の導入、自然素材の使用、自然の形やパターンを取り入れたデザインが特徴である。
 同社は、昨年12月13日から15日にかけて東京ビッグサイ



「第3回 商業施設・店舗DX展」で、自然と調和した照明空間を提案。

トで開催された「第3回 商業施設・店舗DX展」に出展。多くの関係者が来場した。
 プース内にはメインエリアに植物を配置し、自然と調和した照明空間を創出。自然とのつながりを感じさせる居心地の良い空間を提案した。自然+照明器具に風(サーキュレーター)を加え、建物内でありながら自然をより感じられる空間を再現した。

■ENDOの“節電調光”ご提案



時間帯に合わせて店内の明るさを調整する事で電気代を削減。

ENDO LIGHTING CORP.
株式会社 遠藤照明
 ● TEL : 03-5369-7171 (アミューズ開発課)
 ● MAIL : txx@d1.endo-lighting.co.jp
 ● 住所 : 〒160-0011 東京都新宿区若葉1-4-1 ENDO東京ビル
 ● WEB : www.endo-lighting.co.jp